

平成31年度



# 白川小だより

第2号 平成31年4月26日(金)

大切なことを見失わないように ～「統合」に向けての準備が始まります～

校長 奥村 哲也

平成もあとわずかとなり、元号が令和へと変わります。時代の流れの大きな変換点にあるようです。白川小学校にとっても、今年は、大きな変化の年となります。

4月20日(土)に、PTA総会が行われました。開会に先立って、鈴木雅史教育長から保護者の皆さんに、「教育委員会は、令和2年4月開校に向け、白川小学校と白川北小学校の統合の準備を進める。本年度は、両校にとって特別の年となる。」との話がありました。教育委員会は、統合の準備を始めるとのことです。

両校の「統合」については、色々なご意見があると聞いております。また、白川町小中学校再編検討委員会も立ち上がり、将来の学校の在り方についての議論も盛んになっています。これについても多様な考え方があると思いますが、地域・保護者・町・教育委員会・学校等が「子どもたちのための学校の在り方」について話し合っ、より良い方向が示されることを願っています。

ところで、白川小学校と白川北小学校が統合するためには、教育課程をどうするのか、PTA組織をどうするか等、様々な準備をしなければなりません。必要な準備については、順次進めていく所存です。ただし、学校としましては、「統合」という言葉に振り回されたり、浮き足だったりすることのないようにしたいと考えます。「統合」を意識しすぎて、日々の教育活動が疎かになるということがあってはなりません。本当に大切なことを見失わないようにしたいと思います。

「こどもの日」を前に、学校に鯉のぼりを飾りました。子ども達は、風にそよぐ鯉のぼりを嬉しそうに見ています。鯉のぼりは、常に風上に向かって泳ぎます。

勇往邁進。「統合」という大きな流れの中にありますが、地に足を付け、学校教育目標の「かしこく、心豊かで、たくましい実践力のある子の育成」をめざして、日々、粛々と教育活動を進めて参りたいと思います。さらなるお力添えをお願いいたします。

